

思い出に残る音楽を

4月23日(日)、まどかぴあ大ホールで大野城市民吹奏楽団と市内の中学3年生、総勢120人による「ジョイントコンサート2017」が行われました。

市内の中学校から応募した74人の生徒たちは、1月から市民吹奏楽団の皆さんとともに合同練習を行い、熱心な指導を受けてきました。

「先輩たちのように演奏したい」「他の中学生たちと一緒に演奏したい」

そんな想いを胸に参加した生徒たちは、家族や吹奏楽仲間たちに見守られながら、一緒に練習に励んできた市民吹奏楽団員とともに、思い出に残る演奏を満員の客席に響かせました。



交通事故から身を守ろう

4月20日(木)、大利小学校で新1年生に交通安全教室・4年生に自転車安全運転教室が行われました。市長から委嘱された交通安全指導員が子どもたちに交通ルールを守るように教えています。この日は、保護者もたくさん見学に来ており、子どもたちに正しい指導ができるようにと、熱心に耳を傾けていました。

子どもたちがこの教室で学んだことをきちんと守って、交通事故が1件でも減ることを願っています。



天体ドームオープン25周年記念式典

4月22日(土)、北コミュニティセンターで「天体ドームオープン25周年記念式典」が盛大に開催されました。式典では、天体ドーム25年のあゆみと題したスライドショーの上映、新たに整備された天体望遠鏡の紹介、天体ドームの愛称の発表と表彰が行われました。愛称は995点の応募作品の中から「スタードームまどか」(大利小学校6年 鶴田菜摘さん)に決定しました。式典の後は北コミュニティセンターで活動されているグローバルアンサンブルによる星の演奏会が行われ、参加者は楽しいひと時を過ごしました。夜は市民星空観望会が行われ、「木星が見えた!」と目を輝かせる子どもたちの姿が印象的でした。

新たに整備された望遠鏡では、昼間に太陽の黒点やプロミネンスを観測することができます。市民星空観望会や天文講座など、ますます充実した天文イベントを実施していきますので、楽しみにしてください。



大文字

4月から広報担当になりました。被写体を引き立てる、背景をぼかした写真に憧れて、カメラを購入。写真撮影の腕を上げたいと思っていたタイミングでの異動でした。仕事でカメラを使用することが多い広報担当なので、とてもわくわくしています。

取材の際に上手に写真が撮れるようにと、カメラが趣味の知り合いに講習会を開いてもらいました。写真を撮るうえで重要な要素である、絞り値、シャッター速度、ISO感度など教えてもらいましたが、やはり実践あるのみ。取材に行くたびにあてもないこうでもない写真撮りまくっています。うまく撮れたと思った写真でもパソコンの大画面で見ると、ピントがずれていたり、ぶれていたり、暗かったり。思い通りの写真が撮れるようになるには、まだまだ時間がかかりそうです。

早く表紙に使えるようなインパクトがあり、記憶に残るような写真を撮れるようになっていきます。

⑧